

医療と倫理

第14号

2025年 3月

巻頭言	朝倉 輝一	1
〈原著論文〉		
「公正」を理念とする公的医療保険制度の改革に関する一考察	森 禎徳	3
介護保険制度における利用者の選択性の拡大がサービスの質に与える影響について	根本 輝	13
死を選ぶことにより実現される「最善」に対する医師の義務	秋葉 俊介	27
〈研究ノート〉		
再生-18世紀における〈形成衝動Bildungstrieb〉をめぐる議論、ドイツ観念論からの応答	長島 隆	39
〈実践報告〉		
七十七銀行女川支店津波事故——いのちを大切に作る安全な社会づくりをめざして：「大切な命を守る企業防災・組織防災」・「企業のあり方」	田村 孝行	51
〈学会の活動状況〉		
関東医学哲学・倫理学会 2024年度月例会発表者一覧		57
2024年度 年間テーマの趣旨説明（総合部会）「意思決定とコミュニケーション——尊厳を支える仕組み」	小館 貴幸	58
「医療と倫理」執筆要領		59
〈第14号 執筆者紹介〉		61
編集後記		64